

1 事業名等(Plan 1)

事業名: 除雪対策事業
所属名: 基盤整備部維持課管理グループ
第七次総合計画: 政策 3 「すみよさ」のあるまちづくりをめざして 分野 8 防災
予算科目: 7 2 5 除雪対策費 費 72500 除雪対策

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的: 誰のために(対象) 道路交通網の利用者
概要: 事業の実施手法、手順 高山市除雪計画に基づく除雪の実施。
今年度の改善・改革ポイント: 除雪延長の見直し。

3 事業費の推移・結果(Do)

【コスト面】
総合計画計画額(当初) 330,000
総合計画計画額(計画額) 427,000
事業費 427,000
財源: 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 受益者負担, 繰入, 一般財源

【成果面】
活動指標: 除雪延長 (単位: km)
成果指標: 除雪延長(累計) (単位: km)

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)

(現状及び判定理由) 冬期間の市民、観光客、通行車両等の交通確保は重要な施策である。
A: 非常に高い
B: 高い
C: 低い
D: 非常に低い
目的評価: A

②コスト面評価(事業費の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)

減少 維持 1 増加
(判定理由) 地域・年度によって異なる降雪量に応じた除雪を実施する必要があるため、計画的なコスト削減は困難である。

③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)

拡大 維持 1 減少
(判定理由) 市内でも地域や年度によって積雪量や降雪回数が異なるものの、概ね通学・通勤時間帯までに交通を確保している。

目的評価: A

②コスト面: 増加 維持 減少
③成果面: 拡大 維持 減少

コスト・成果ポジション: E 第3水準

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」 → I 「良い」 良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」 → II 「やや良い」 「I」の水準に向けた改善が必要

一次評価 主管課: III
判断の理由: 積雪寒冷地での除雪は必要不可欠なものであり、除雪は今後も継続して行わなければならない。

分析・評価(Check)により明らかになった課題・問題点

- ・全市的な除雪水準の平準化と地域要件を反映した時のバランス。
・道路管理以外の観点(住民福祉等)からの私道除雪への対応。

総合評価

コスト: 高 成果: 高 評価区分: III

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案 (下記チェック)
現状維持 ■ 改善・継続 終期設定 休止 廃止 完了

- ・除雪路線の更なる見直し。
・歩行者の安全が確保されるよう除雪実施時に配慮が必要である。
・市民との協力・連絡体制の確立を図る(消融雪側溝整備区域の除雪水準を下げる等)。

次年度の実施方針
除雪計画を策定し実施する。

「II」以上の水準に向けた改善が必要

冬季間における市民の安全・安心な暮らしを確保するため、除雪事業は非常に重要であり、市民からも除雪事業の充実に対して多くの要望がある。